

黒枝豆の販売解禁を祝う関係者ら（いずれも丹波篠山市で）



「黒枝豆」解禁待ってた

粒大きく 濃い甘み

丹波篠山市の特産「黒枝豆」（黒大豆）の販売が7日、解禁になった。今年は夏の猛暑や少雨が生育に影響し、解禁日も例年の2日遅れに。市内の販売所などでは待ちわびた人たちが長い列を作った。

同市福住の県立篠山東雲高校の実習農場ではセレモニーがあり、副市長が「素晴らしい丹波篠山の味覚を多くの人に楽しんでほしい」とあいさつ。市農業生産組合協議会の会長が解禁を宣言し、黒枝豆を収めた

丹波篠山でセレモニー 販売所に長い列

樽に木槌を振るって祝った。黒枝豆は一般的な枝豆より粒が大きく、濃い甘みがあることが特徴。完熟する前の「若莢」の状態では収穫しているため、味わえるのは解禁から1か月ほどという。

会長は「9月下旬になって丹波独特の朝露が落ち、



ゆで上げた黒枝豆

朝も冷え込んできた。実がどんどん膨らみ、満足がいく出来栄になった」と話していた。

枝付き（1キ）が1600円前後で販売されている。市内の取扱店については観光サイト「ぐるり丹波篠山」で紹介している。

2023年10月9日

読売新聞